

平成28年度 決算報告書

国立大学法人 宮城教育大学

(単位：百万円)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 額 (決算－予算) | 備 考 |
|----------------------------|-------|-------|----------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 2,718 | 2,745 | 27 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 277 | 276 | ▲1 | (注2) |
| うち27年度施設整備費補助金 | 277 | 276 | ▲1 | |
| うち補正予算による追加 | 0 | 0 | — | |
| 補助金等収入 | 30 | 31 | 1 | (注3) |
| 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 | 22 | 18 | ▲4 | (注4) |
| 自己収入 | 932 | 955 | 23 | |
| 授業料、入学金及び検定料収入 | 899 | 920 | 21 | (注5) |
| 雑収入 | 33 | 35 | 2 | (注6) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 101 | 161 | 60 | (注7) |
| 目的積立金取崩 | 0 | 42 | 42 | (注8) |
| 計 | 4,080 | 4,228 | 148 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 3,650 | 3,565 | ▲85 | |
| 教育研究経費 | 3,650 | 3,565 | ▲85 | (注9) |
| 施設整備費 | 299 | 294 | ▲5 | (注10) |
| うち耐震対策事業 | 277 | 276 | ▲1 | |
| うち営繕事業 | 22 | 18 | ▲4 | |
| 補助金等 | 30 | 28 | ▲2 | (注11) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 101 | 131 | 30 | (注12) |
| 計 | 4,080 | 4,018 | ▲62 | |
| 収入－支出 | — | 210 | 210 | |

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特殊要因経費において、退職手当の追加配分が当年度中にあったため、27百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、青葉山講堂の耐震改修に係る支出が入札時に当初予定より少額となったため、交付額が1百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、当初予定になかった緊急スクールカウンセラー等活用事業が採択されたこと、及び、ユネスコ活動費補助金の当初収入見込額の減額があったため、予算額に比して決算額が1百万円多額となっております。
- (注4) 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、当初見込んでいた内示額から減額となったため、4百万円少額となっております。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として当初見込に対する授業料納入者数の増加、及び、免除者数の減少等に伴い、予算額に比して決算額が21百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として、清涼飲料水自動販売機の販売手数料、大学入試センター委員協力経費等により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっております。
- (注7) 当初予定になかった受託事業、寄附金の獲得に努めたこと、寄附金前年度繰越分からの支出相当額を収入決算額に含めたことにより、予算額に比して60百万円決算額が多額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、承認された第2期中期目標期間からの繰越金の執行により、予算額に比して決算額が42百万円多額となっております(退職手当分)。
- (注9) (注8)に示した理由、退職者増による退職金執行額の増額、及び、退職教員の不補充、光熱水量費等一般管理費の節減等により、予算額に比して決算額が85百万円少額となっております。
- (注10) (注2)、及び、(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっております。
- (注11) 大学改革推進等補助金において執行残額が発生したため、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注12) (注7)に示した理由、及び、寄附金の今年度執行額の増等により、予算額に比して決算額が30百万円多額となっております。